

尿路上皮癌に対してゲムシタビンとシスプラチン、
またはゲムシタビンとカルボプラチンの治療を受けた患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 尿路上皮癌におけるG C療法とG C b療法の比較

[研究機関] 北海道大学病院薬剤部

[研究責任者] 井関 健 (薬剤部・薬剤部長)

[研究の目的]

尿路上皮癌の治療として、ゲムシタビン (商品名ジェムザール) とシスプラチン (商品名シスプラチン) を組み合わせて投与するG C療法があります。この治療は、副作用としてシスプラチンによる腎機能障害が高い頻度で生じます。腎機能が低下した場合、あるいはすでに低下している患者さんには、シスプラチンのかわりにカルボプラチン (商品名カルボプラチン、パラプラチン) を用いたG C b療法が選択されます。カルボプラチンは、血小板減少が高い頻度で出現することが予想されます。血小板減少が強く出現する患者さんにはカルボプラチンを2回に分割して投与する方法も行われています。

この研究では、G C療法とG C b療法 (分割治療含む) の効果や副作用の傾向を調査させていただき、その有用性を比較検討することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成21年4月1日から平成24年9月30日の間に北海道大学病院泌尿器科においてゲムシタビンとシスプラチン、またはゲムシタビンとカルボプラチンによる化学療法を受けた患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、治療内容、血液検査結果(白血球、赤血球、ヘモグロビン値、血小板、クレアチニン値)、抗がん薬を含む処方と前処置等含むその関連処方、副作用症状とそのグレード・継続日数、薬剤管理指導記録、看護記録

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院薬剤部 担当者 井関 健

電話 011-706-5680 FAX 011-706-7616